

ス テ ー ジ ア ッ プ

Stage Up

主な記事

- ・地域の宝「めでたや」を歌いつく「大師古民謡保存会」
- ・フラダンスで楽しく健康に！「フラ・ハラウ・オ・ヒナノ」
- ・小学5年生から中学2年生 真夏の大冒険!!
特集 ふれあいサマーキャンプ

詳細・他

◆ 施設めぐり

- ・かわさき下水道広報施設
ワクワクアクア
地下に広がりみんなを守る
下水道を知ろう！
- ・川崎市大山街道ふるさと館
高津地域や大山街道の
歴史・文化を紹介

◆ 財団からのお知らせ

- ・たのしいキッズセミナー
- ・お楽しみコーナー



「Colors かわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つ作品のありのままの魅力を感じてもらおうことを目指す展覧会です。

障がいのあるなしに関わらず親しめる芸術文化活動の環境づくりに向けた「パラアート推進事業」の一環として、(公財)川崎市文化財団が年1回開催しています。



Colors かわさき 展より⑨ ケーイチヨン K14 「子犬のまなざし」 2023年

チラシ、マスキングテープ、のり

食材のチラシを切り貼りして、動物の絵を作り続けています。この作品は、見つめてくる愛らしい子犬の顔を正方形で表現したくて作りました。マスキングテープでトイプードルの毛の流れを表現しています。(本人)



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28 番 41 号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpal.or.jp E-mail: stage-up@kpal.or.jp



地域の宝「めでたや」を歌いつく 「大師古民謡保存会」



▲令和5(2023)年4月22日
東海道川崎宿起立400年記念「東海道 川崎宿場まつり」

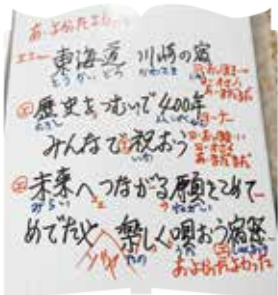
「ア～良かった 良かった おめでとうございませす！」と歌って結ぶ、大師地区に幕末から伝わる古い民謡をご存じですか。婚礼や新造船の船卸(ふなおろし：進水式)、建前などのお祝いで歌われてきたその唄は、その名も「大師めでたや節」。なんとも幸せな響きです。

『大師古民謡保存会』は、この唄の魅力や郷土愛とともに未来へ歌い継ぐ活動をしています。伊藤三郎川崎市長の時代に、地元の民俗芸能を保存しようという機運が高まり、藤崎地区の松原時之助さんが初代会長となって保存会が発足し、松原さんの屋号をとって「亀堀会」としました。川崎市民俗芸能保存協会に登録する際に『大師古民謡保存会』とし、現在会長の田辺裕之さんは4代目、8名の会員で活動しています。大師駅前商栄会「ごりやく通り」にある稽古場で、小学校の出前授業後の皆さんにお話を伺いました。

大師めでたや節ってどんな唄？

昔から、多摩川対岸の羽田地区と大師の間では嫁入りによる交流が盛んに行われ、祝い唄として「羽田節」がよく歌われていました。川を越えて伝わった羽田節は、「大師節」や、歌詞の一部から「おせど節」「めでたい」と呼ばれ、現在では「大師めでたや節」「めでたや」と呼ばれるようになったと言われています。

羽田の漁師が川崎に来た時、羽田節の「羽田ではやるお穴さま(穴守稲荷神社)」を「川崎ではやる大師さま」と替えて歌ったことから、大師地域では替え歌を作って楽しむようになったとのこと。お祝いで車座になって酒を酌み交わしながら、手拍子に合わせて独唱し、歌い終わったら次の人へと、一晩中歌い続けて楽しむ祝い唄。厳格な決まりはなく、歌い方や節回しが人によって少しずつ違って、個性的なところに味わいがあります。戦後唄う人が減ってしまったのは、戦争で唄どころではなかったこともあるようですが、式場で結婚式を行うようになり、車座での宴席が少なくなったからだという説もあります。



▲川崎宿起立400年を記念して保存会が作詞「川崎宿400年のうた」

大人も子どもも達成感！小学校出前授業

平成19(2007)年、川中島小学校創立70周年の時に同小卒業生の田辺会長に声がかかり、当時の6年生に「めでたや」を教えることになりました。子どもたちのほうから「僕たちも歌詞を作ってみようかな」と言い出し、自分たちで作った歌詞を古民謡の調べに乗せて70周年を祝いました。これをきっかけに、川中島小学校、藤崎小学校、大師小学校で3年生に向けた出前授業が始まりました。子どもたちは5～6回の授業の中で古民謡を学習し、オリジナルの歌詞を作詞して、発表会で元気よく表現します。最終日には修了証を全員に授与。それぞれの名前が入った修了証を見て、子どもたちはとびきりの笑顔となったそうです。

「子どもたちに覚えてもらおうと、将来芽が出て花を咲かせる希望が持てます」と会員の井上さん。松本さんも、「みんなでアルバムを見たときに、『こういうのがあったね』と掘り起こしてくれれば、後世に伝わっていくんじゃないかな」と期待を込めて話していました。



たくさんの方に聞いてもらい、 魅力を伝えていきたい

「『めでたや』は、明るく前向きな歌詞なので、積極的に地域のお祭りやイベントに出て行って、歌っていきたいです。それが古民謡として広がっていけば嬉しい」と中村さん。多摩川スカイブリッジ開通時には前日イベントで歌い、昨年の川崎宿起立400年「東海道川崎宿場まつり」では、「川崎宿400年のうた」を作って多くの来賓の前で歌いました。コロナ禍前は毎年若宮八幡宮夏祭りで歌っていましたが、今年になってからは2月の福德稲荷大祭・午(うま)まつりで川中島小学校の3年生と一緒に「めでたや」を歌い上げました。

田辺会長は、「どこかの集会所を借りるのではなく、拠点となる稽古場があることが私たちのウリです。現在、新入会員を大募集しています！！」と声を大にしておっしゃいました。自然に口角が上がってしまうような明るい祝い唄、「大師めでたや節」の継承に力を注ぐ大師古民謡保存会。きょうも稽古場に明るい歌声が響きます。



▲稽古場で美声を響かせる(左から)中村さん、松本さん、田辺会長、井上さん

♪ア～良かった 良かった おめでとうございませす♪

■大師古民謡保存会

会長 田辺 裕之

電話 044-288-5865

FAX 044-288-5909

フラダンスで楽しく健康に！ 「フラ・ハラウ・オ・ヒナノ」



フラ・ハラウ・オ・ヒナノは、“健康第一、毎日イキイキ”がモットー。「笑顔がいちばん！とにかく楽しまなくちゃ」という代表の戸屋律子さんの指導のもと、15人ほどの仲間が『健康フラダンス』を楽しんでいます。「フラ・ハラウ・オ」はフラの教室という意味、「ヒナノ」はハワイの花の名前で、戸屋さんがフラの先生からいただいたハワイアンネームだそうです。現在は主に川崎市生涯学習プラザで活動しています。

楽しく体を動かすと、体の不調も楽になる

私たちがハワイの伝統的な踊りとして認識しているフラダンスは、現地では「フラ」といい、踊りだけでなく、踊りと共に奏でられる楽器の演奏や歌も含む、総合的な芸術を示すのだそうです。心いやされる美しいハワイアンソングの旋律、優雅で流れるような動作が大きな特徴で、重心を落として腰を揺らしながら、しなやかにステップを踏み、ゆったりとしたハンドモーション(手の動き)を組み合わせながら踊ります。女性はパウと呼ばれるスカート、男性はアロハシャツを着用するそうです。華やかな衣装は、それだけでも気分が上がりますね。

やわらかくゆったりとした動作で、激しい動きのあるダンスではありませんが、普段使わない部分まで、全身の筋肉をフルに使うため、実際にやってみるとかなりの運動量で、体力がついていくのだそうです。20代からフラダンスを続け、イベント出演などエネルギーに活動してきた戸屋さんですが、ご自身もおとなになってきて、「フラダンスで楽しく体を動かすこと



ことで、体力もついて、体の不調も楽になる」と感じているとのこと。無理なく、楽しく、“健康第一、毎日イキイキ”をモットーとした『健康フラダンス』をおとなの皆さんに広める活動がメインになってきました。

◀フラを続けて楽しく健康に！
戸屋さんの笑顔を見れば一目瞭然

ラジオ体操で全身をバランスよく動かす

レッスンには、皆さんよくご存じのラジオ体操を取り入れています。「ラジオ体操は、体全体の筋肉や関節をバランスよく動かすように、本当によく考えられていて、とても理にかなっているんです。正しく動かそうとすると、私でも難しい」と戸屋さん。ラジオ体操だけでなく、ストレッチも入念に行ってからフラの練習に入っていくそうです。

振り付けができるようになって嬉しい

戸さんは、「無理なく、ゆったり、とにかく楽しんでやりましょう」と話しますが、やはり、先生のようにきれいな動きをマスターできたら嬉しいものです。ゆったりとした動きですが、指先まで神経を行き届かせて踊るのはなかなか難しい。練習してマスターする、できるようになる喜びを味わうことができます。



▲レッスンの様子

手は第二の脳とも呼ばれるくらい、指先などを動かすことで脳の血流が良くなり、認知症予防や物忘れなどに効果があるという話を聞いたことはありませんか？「できるようになりたい」とレッスンに没頭する時間を作ることが、脳の活性化につながっているかもしれません。

『健康フラダンス』を一緒に♪

戸さんは、「お仕事や家庭のことが一段落して、何かを始めたいけれども、『もう年だから』とあきらめている人こそ始めてほしいです。フラは何歳からでも始められます」と素敵な笑顔で話していました。男性のフラダンスも指導できるそうですので、男性の方も、「運動」と捉えてチャレンジしてみたいかでしょうか。教室の皆さんは、身体を動かすこと以外に、仲間とおしゃべりで笑い合うことも心の健康に必要なだと言っています。“一緒に”が大切なのですね。

新年度になりました。「何か始めたい」と考えているあなた、愉快で素敵な仲間たちと一緒に気持ちよく体を動かし、毎日をイキイキと過ごしませんか。フラ・ハラウ・オ・ヒナノのレッスンは見学者大歓迎です！



▲マスク越しでも分かる
こぼれんばかりの笑顔♪

■フラ・ハラウ・オ・ヒナノ

代表 戸屋 律子

電話 090-9006-3423

メールアドレス ritsuko_0420@ezweb.ne.jp



特集

小学5年生から中学2年生 真夏の一大冒険！！

ふれあいサマーキャンプ

夏休みにすてきな人との交流と貴重な自然や文化とのふれあい体験をしませんか？

ふれあいサマーキャンプとは、夏休みの期間に、川崎市の子どもたちが、川崎市の代表として友好市や町を訪れ、市や町の自然や文化、地域の人々とのふれあいを体験することができる、地域間交流を目的とした宿泊体験活動です。平成2(1990)年の岩手県東和町（現花巻市）からスタートし、34年の歴史があり、多くの方が参加しています。昨年は、小学生79名、中学生24名の計103名が参加しました。訪問する市や町の自治体や地域団体が全面的に協力して実施しているので、個人旅行ではなかなか味わうことができない貴重で豊かな体験ができます。

川崎市内在住の小学5年生から中学2年生が参加対象となります。川崎市内のさまざまな学校から集まった参加者との仲間づくりもできるので、夏の楽しい思い出づくりができます。

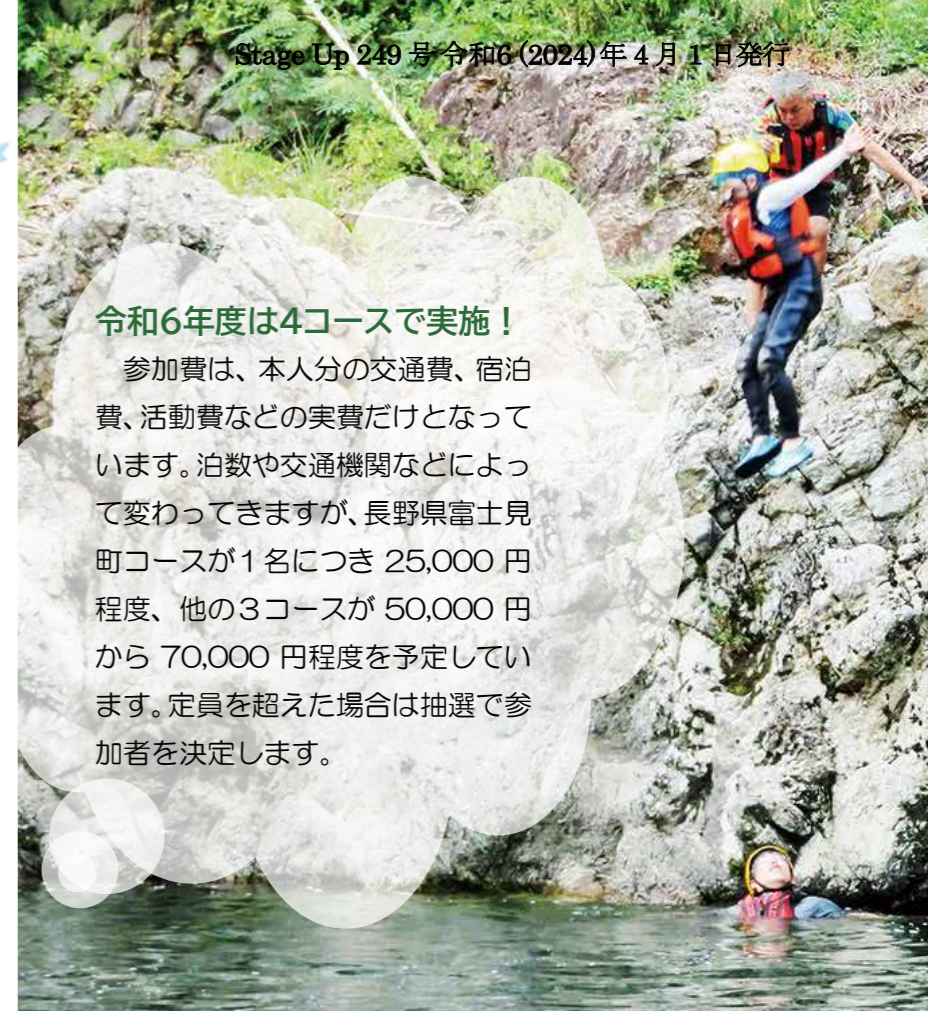
このキャンプは、川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館、公益財団法人川崎市生涯学習財団の共催です。川崎市立学校の教職員や主催者の職員などが引率者となります。参加者4～5名に1人の割合で引率者がつきまますので、1人で申し込んでも安心して参加することができます。

★今年の予定★



令和6年度は4コースで実施！

参加費は、本人分の交通費、宿泊費、活動費などの実費だけとなっています。泊数や交通機関などによって変わってきますが、長野県富士見町コースが1名につき25,000円程度、他の3コースが50,000円から70,000円程度を予定しています。定員を超えた場合は抽選で参加者を決定します。



古座川町コース(3泊4日)



川遊び・うなぎ石漁体験



カヌーでの川下り

主な活動

川遊び・うなぎ石漁（古座川支流の清流での様々な川遊び）
川でのカヌー（古座川の上流から下流までカヌーでの川下り）
一枚岩・滝の拝（雄大なジオパークの自然遺産見学）
熊野古道ウォーク（世界遺産である古代から続く巡礼の道を那智の滝まで歩く）
古座川町小学生との交流（川遊びやカヌーなどを交流しながら一緒に体験する）

2023年参加者の感想

「川でカヌーをやりました。2人1組で漕ぐのですが、ふつうにキツかったです。でも、周りの景色がとても綺麗だったので、疲れが吹っ飛びました。楽しいカヌーが終わると2日間楽しく仲良く過ごした古座川の友とお別れしました。寂しいですが、また会えたらいいなと思いました。」(小学6年生 Iさん)

「午後は川遊びをした。うなぎ石からうなぎを探すということをした。自分達のチームだけ捕れてうれしかった。川でアユやエビ、カニ、ハゼを捕えようとしたが、とても速く捕らえられなかった。深い所では川がとても透けていて美しかった。」(中学1年生 Aさん)

益田市コース(2泊3日)



石見神楽体験



海遊び

主な活動

川遊び（清流での遊泳や飛び込み）
海遊び（人が少ない海岸で遊泳や飛び込み遊び、マリンスポーツ体験）
石見神楽（石見地方に伝わる迫力ある神楽の観賞に加え、衣装や用具にふれる特別体験）
アウトドア料理体験（川魚の炭焼き、バーベキューまたはカレーづくり）
竹細工工作 ふどう園見学
益田市小中学生との交流（川または海遊びなどを通して）

2023年参加者の感想

「1日目は石見神楽が一番楽しかったです。ヤマタノオロチの衣装を体験した時は、とても重くて、速く動けませんでしたが、その衣装を着て動いていた人たちはとてもすごいと思いました。」(小学5年生 Kさん)

「一番に残った体験は海でのマリンスポーツです。カヌーでは3回も転覆してしまいましたが、上手にできた時は風を切って早く動くことができ、とても楽しく達成感がありました。海へ飛び降りたことも印象に残っています。最初は少し怖かったけど、一度やってみるととてもおもしろく、爽快な気分になりました。」(中学2年生 Hさん)

花巻市コース(2泊3日)



さき織体験



湖でのカヌー体験

主な活動

さき織（東北地方に伝わる古い布をさいてよこ糸として織り込む体験）
和紙すき（昔ながらの本格的な器材を使っての紙すき作品作り）
カヌー・ボート（田瀬湖でボートでの湖巡りとカヌーの自由乗艇）
農作業（野菜の収穫や植え付け体験・後日、宅配便での農産物プレゼント有り）

2023年参加者の感想

「特に楽しかったのは、和紙すき体験とさき織体験です。両方とも思ったよりもむずかしくて大変だったし、うまくできるか不安でした。でも両方ともうまくできていたのでうれしかったです。宝探しなどのみんなで協力して行動するのも、仲良くなれてとても楽しかったです。」(小学6年生 Aさん)

「一番の思い出はカヌー・ボート体験です。まず、モーターボートに乗せてもらいました。その後、カヌーに乗り、友達と鬼ごっこをしました。とても楽しい時間だったので、またふれあいサマーキャンプに参加したいと思いました。」(中学1年生 Kさん)

富士見町コース(2泊3日)



川俣渓谷ハイキング



合同バーベキュー

主な活動

川俣渓谷ハイキング（ガイドの案内で自然について学ぶハイキング、川に足を入れる体験も）
鼻戸屋ハイキング（富士見町小中学生と合同の班で交流ハイキング、南アルプスの絶景も）
カゴメ野菜生活ファーム（工場の見学や野菜収穫体験など）
星座観測・ナイトハイク（アストロハウスでの星座観測や明かりのない歩道歩く体験）

2023年参加者の感想

「このキャンプはとても楽しかったです。この前もハケ岳に学校で行ったが、ここでは学校ではやっていなかったことが楽しめていいなと思いました。また次もこのキャンプに来たいなと思いました。」(小学5年生 Sさん)

「2日目は富士見町の友達とハイキングやバーベキューをする時に仲良くなった人と雑談したり、お菓子を分けたりして楽しみながら活動できました。ハイキングだけではなく、川遊び、広い草原でかけっこをするなど普段はあまり体験することができないことを体験できました。」(小学6年生 Mさん)

【申込期間】

令和6年5月10日(金)～24日(金)

ハガキやFAX、ホームページで申し込みます。定員を超えた場合は抽選で参加者が決まります。※コース内容等に変更が生じる場合があります。

5月に学校から参加者募集の案内の「川崎こどもニュース」が配付されます。川崎こどもニュースや川崎市生涯学習財団のホームページを見てお申し込みください。

■(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室

〒211-0064 中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ
電話 044-733-5572 (サマーキャンプ担当直通)
ホームページ <https://www.kpal.or.jp>



川崎区

かわさき下水道広報施設 **ワクワクアクア**

JR「川崎駅」東口 14 番のりばからバス
【川 10】塩浜行きで「入江崎水処理センター前」下車
徒歩約 1 分



エントランスでは
歓迎画面があなたを
お迎えするよ！



カッピー

沈砂池設備で大きなごみを取り除いた下水は、**最初沈でん池**で小さなごみを沈めてから**反応タンク**に送られ、微生物によって汚れを分解します。微生物が働くために必要な空気を送り込んでいますが、微生物の量によって空気量の調整が必要なため、24 時間監視して調節しているそうです。**最終沈でん池**ではゆっくり水を流し、反応タンク内で働きを終えた微生物を多く含む活性汚泥(おでい)を沈でんさせ、きれいになった上澄み水を塩素により消毒して東京湾に放流します。

地下に広がりみんなを守る下水道を知ろう！

私たちは自然の恵みとして自然界を循環する水の一部を利用して生活しています。私たちが使って汚れてしまった水をそのまま流すと、不衛生な環境となり、自然界にも悪影響を及ぼしてしまいます。地下に広がる下水道が、私たちの生活を清潔で快適に保っているのです。

ワクワクアクアは、「見えない下水道を探り水環境を考える」をコンセプトに、平成31(2019)年4月に入江崎水処理センター内に開設されました。広報施設として建物が独立しているのではなく、実際に運転している施設内を見学することができる国内でも珍しい施設です。

現場とバーチャル、2段階で体験

昭和36(1961)年に運転を開始した入江崎水処理センターは、県内で最も歴史のある下水処理施設です。見学コースの西系水処理施設は、高度処理や省エネルギー対策、再生可能エネルギーの有効利用、資源の有効利用など、様々な環境技術を取り入れた最先端の水処理施設です。

迫力満点の大画面で概要を学ぶ

沈砂池(ちんさち)管理棟 2 階のガイダンスルームでは、臨場感あふれるガイダンス映像で下水道の役割などを学びます。大人用、子ども用、さらには外国の方向けの映像が準備されています。

最先端の水処理施設を実際に歩いてみよう



沈砂池管理棟と水処理施設をつなぐ地下管廊

沈砂池管理棟から水処理施設へは、実際に水が流れている管の横を歩いて行きます。運転中の施設を見学するため、セキュリティや見学者の安全面を考慮し、水処理センターの運転操作や水質管理などの業務経験を有する職員の方が案内していただきます。

**見えない下水道のヒミツを探る！
下水道バーチャルツアー**

沈砂池管理棟 4 階「バーチャル体験展示室」は、AR(拡張現実)技術を活用しています。カメラでとらえた現実の映像の上に様々な情報が重ねて映し出され、楽しく下水道の世界を学ぶことができます。

各自のタブレットで、興味を持った展示の AR マーカーを読み取り、水循環や川崎市の上下水道の広がり、水処理施設で見てきた下水処理のしくみ、災害と下水道についてなどを自分のペースでバーチャル体験。普段は見えない下水道について、たくさんの発見があることでしょう。



入口でタブレットを借りて出発！



映像や文字情報が次々と映し出されます。



下水道の役割と、その大切さを改めて考えよう

入江崎水処理センター職員の石倉さんは、「多くの方に実際の水処理の状況を見て体験してもらい、下水道の役割と、その大切さを納得してもらえたら嬉しいです。そして、下水道の重要性を日本だけではなく世界に発信していけたらいいですね」と笑顔で話してくださいました。

映像やバーチャルでの体験と、リアルな現場体験による見学ができるワクワクアクア。いつもお世話になっているけれども、目で見ることとはほとんどない下水道の世界をあなたも体験してみませんか。

普段入ることができない貯留管(ゲリラ豪雨や台風などの大雨で下水が処理しきれない時、一時的に水を貯める大きな管)の内部に潜入。360 度見ることができ、直径 5m という、その規模感に圧倒されます。

■かわさき下水道広報施設 ワクワクアクア

〒210-0826 川崎区塩浜 3-17-1

見学のご案内

問合せ電話 044-287-5214(上下水道局 入江崎水処理センター)

(受付時間 平日午前8時30分から午後4時30分)

開館時間 午前8時45分から午後4時15分

休館日 水・土・日曜日、祝祭日、年末年始



ホームページ



おすいくん

見学は予約制です。個人、団体、共に事前にお申し込みください。見学時間はおよそ120分です。

高津区

川崎市大山街道ふるさと館

JR「武蔵溝ノ口駅」下車 徒歩約7分
東急線「溝の口駅」下車 徒歩約7分
東急線「高津駅」下車 徒歩約5分大山街道青山通り大山道に
面している入口

高津地域や大山街道の歴史・文化を紹介

大山街道ふるさと館は、武蔵溝ノ口駅から徒歩7分、平成4(1992)年8月1日に、大山街道沿いの旧高津町役場跡地に開館し、今年で開館32年になります。この地域は、江戸時代に二子宿・溝口宿として、大いにぎわい、明治時代以降も国木田独歩など多くの文化人が集い、濱田庄司、岡本かの子など様々な文化人が育った歴史と文化のまちです。当館は、高津地域や大山街道の歴史・文化を紹介する施設ですが、会議室等4つの貸室もあり、様々な文化活動なども行うことができます。

小林館長に館内を案内していただきました。



必見！展示室

ふるさと館に着いたら、まず1階奥の展示室をのぞいてみてください。ここでは、年間を通じてさまざまな企画展を開催し、企画展以外の時期に常設展を開催しています。当面は、

次の予定となっています。今年は、秋から冬も川崎市市制100周年を記念した企画展を予定しています。

※展示替えによる閉室期間があります。

3月9日(土)～4月21日(日)

常設展「大山街道 ～二子・溝口宿～
ふるさとの歴史・民俗・生活展」

4月27日(土)～6月12日(水)

企画展「川崎の地名(仮)」
川崎地名研究会主催・当館共催

6月14日(金)～6月16日(日)

企画展「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」
高津区老人クラブ連合会主催・当館共催

■川崎市大山街道ふるさと館

〒213-0001 高津区溝口 3-13-3

電話 044-813-4705

FAX 044-712-0034

開館時間：午前9時30分から午後9時30分

展示室 午前10時から午後5時



ホームページ



魅力的な講座を開催

企画展をより深く知るための「企画展記念講演会」、地域の歴史や文化を学ぶ「高津・大山街道探究講座」(年3回)、大山街道を歩いて知る「大山街道学習講座」(年5回)、高津のまちを歩いて知る「高津のまち歩き講座」、地元の専門店の皆様に講師となつていただく「まちのマイスター講座」(年3回)、「落語膝栗毛」(年3回)、地元の小学生を対象に年間を通じて地域のことを学ぶ「子ども大山街道探検クラブ」、高津区内近隣小学校へ地域の歴史を伝える「ふるさと子ども出前授業」など、様々な講座を開催しています。



大山街道学習講座



子ども大山街道探検クラブ

気軽に立ち寄る休憩スポットとして

館内には、少人数での短時間の打ち合わせや、まち歩き、街道歩きの休憩スペースとして利用できる談話室があり、自販機も設置されています。

川崎市唯一のウォーキングステーションとして、ふるさと館をスタート・ゴールに、10のコースが設定されています。その日の気分や体調でコースを決定し、参加費(1回200円保険料込み)を払って地図を受け取ったらスタート！初回利用時に利用者登録をすれば、どなたでも利用できます。

秋・春には「ふるさと館まつり」を開催。親子向けワークショップ、子ども縁日、地元農家さんの野菜販売、スイーツなどの販売、青空ステージやイベントホールでのダンスや音楽、大山街道ふるさと館クイズラリーなど、多くの方でにぎわいます。令和6年度は9月下旬と翌年の3月上旬に開催する予定です。

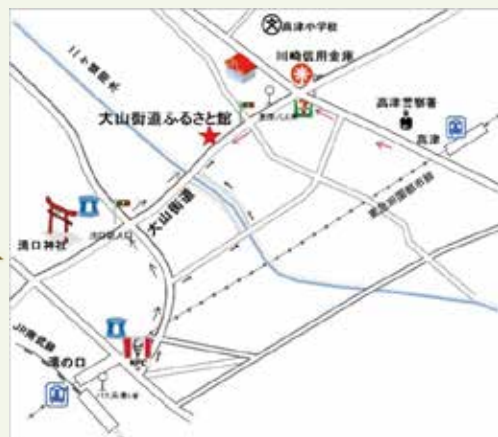
小林館長から皆さんへ。「ふるさと館では、年間を通じてさまざまな事業を行っております。溝口や高津に来られましたら、お気軽にお立ち寄りください。ご来館をお待ちしております。」



秋のふるさと館まつり



春のふるさと館まつり
アート de ミュージカル



R6 夏休み特別講座 —小学3年生～6年生向け 各教科や学習とつながる体験的活動—

たのしいキッズセミナー

「たのしいキッズセミナー」って?

1. これまでに学校の学習や活動で培った力をベースにして、個々の興味や関心を広げたり深めたりする機会
2. 国語・算数・理科・造形・音楽・パソコンの学習や活動を中心に、身体を動かしたりものにふれたりしながら、心を、思考力を、そして、指先をはたらかせる活動
3. とても楽しく、取り組んだ学習や活動がますます好きになる講座

…です!

日時 令和6年7月22日(月)～25日(木)
午前10時～12時、午後1時～3時
会場 川崎市生涯学習プラザ
[中原区今井南町 法政二高近く]
講師 「認定NPO法人教育活動総合サポートセンター」
に登録された経験豊富な先生方
対象 小学校3年生～6年生

実施予定講座 16講座

- ★楽しい国語(全3回)
- ★算数レベルアップ(全2回)
- ★チャレンジ算数(全2回)
- ★たのしい理科①・②(各2回)
- ★おもしろ科学①・②・③(各2回)
④・⑤(各1回)
- ★わくわく造形教室A・B・C(各2回)
- ★楽しい音楽(全3回)
- ★キッズパソコン①・②(各4回)



R5 参加者の声

「たのしい国語」

3年生 男児
国語がちょっと好きになりました。また、かん字パズルが一番楽しかったです。また来年の国語にさんかしたいです。国語が好きになれてうれしいです。



「楽しい理科・おもしろ科学」

4年生 女児
楽しかったことは、葉肉を落とすところ。理由は、歯ブラシ使って葉肉を落とすのは初めてで楽しかったからです。押し花の作り方が分かってよかったです。



「わくわく造形教室」

5年生 男児
午前中は、自然の中にあるものを使って「森のテーマパーク」を作りました。貝がらをつけたらうまくいきました。午後は、ダンボールで作品を作りました。最初は苦sensenしましたが、先生のアドバイスのおかげで「立つ空そうの生き物」が完成しました。中を見るとあみ目がきれいでした。



「算数レベルアップ」

3年生 女児
マッチぼうクイズ、不思議な計算、たし算ピラミッドなど楽しく学べました。ありがとうございました。来年も算数レベルアップ教室に行きたいです。



※諸事情により講座数や回数は増減する場合があります。

◆お楽しみコーナー

Stage Up 249号クイズに答えよう!

かわさき下水道広報施設ワクワクアクのバーチャル体験展示室では、カメラでとらえた映像の上に様々なデジタル情報を重ねる〇〇(拡張現実)技術を活用しています。

下の〇〇にあてはまる言葉を入れてください。
『〇〇(拡張現実)技術』※ヒントp.6

【応募方法】



左記の二次元コードから解答フォームへアクセス、または、①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 令和6年5月13日(月) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

Eメール: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



申込期間 令和6年5月31日(金)～6月17日(月)

申込方法 申込書記入後、郵送、FAX

または生涯学習プラザ窓口へ持参

受講料他 各講座とも1回 1,430円(消費税込み)×開催回数

お一人につき保険料・通信費等 400円

希望講座により200円～1,000円の教材費

※諸事情により各金額は増減する場合があります。

問合せ (公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室

「キッズセミナー」担当

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

電話 044-733-6626

FAX 044-733-6697

メールアドレス suisin7@kpal.or.jp



ホームページ

☆248号のクイズの答え・・・江戸